



2020年10月30日

各位

会社名 川崎近海汽船株式会社
 (コード番号 9179 東証第2部)
 代表者名 代表取締役社長 久下 豊
 問合せ先 常務取締役経営企画部長 佐野 秀広
 (TEL:050-3821-1334)

2021年3月期第2四半期連結累計期間業績予想との差異
 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年7月31日に公表いたしました2021年3月期第2四半期累計期間業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、2021年3月期通期の業績予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2021年3月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想との差異
 (2020年4月1日～2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	18,100	△ 550	△ 600	△ 300	△ 102.20
今回発表実績 (B)	18,154	235	132	462	157.49
増減額 (B-A)	54	785	732	762	—
増減率 (%)	0.3%	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2020年3月期第2四半期)	22,505	1,444	1,398	1,086	370.21

2. 2021年3月期通期連結業績予想の修正 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	36,000	△ 1,400	△ 1,450	△ 800	△ 272.52
今回発表予想 (B)	35,600	△ 200	△ 550	0	0.00
増減額 (B-A)	△ 400	1,200	900	800	—
増減率 (%)	△1.1%	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期通期)	44,337	1,913	1,907	1,370	466.90

3. 差異及び修正の理由

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、前回公表時は新型コロナウイルス感染症拡大による影響により荷動きが大きく落ち込むことを想定し、損失計上を見込んでおりましたが、燃料費が想定よりも廉価であったことや、近海部門で徐々に市況の回復が見られたこと、フェリー輸送で旅客や乗用車が想定を上回ったことなどに加え、様々なコスト削減策の実施なども奏功し、営業損益及び経常損益については、利益を計上する結果となりました。また、船隊整備の一環として外航船1隻を売却し、固定資産売却益を計上した結果、親会社に帰属する四半期純損益についても、利益を計上する結果となりました。

通期業績予想につきましては、最新の燃料油価格想定や足元の荷動き想定に基づき見直しを行った結果、新型コロナウイルス感染症の影響は依然として一定程度継続し、また、下期は例年どおり季節要因による荷動きの落ち込みなどで厳しい収支となる見込みではありますが、上期の利益計上もあり、前回公表の赤字額は縮小するものと予想し、上記のとおり修正いたしました。

なお、今回の通期業績予想は、前回公表値よりは改善するものの、売上、利益水準ともに前年を大きく下回ることを予想しております。引き続き、新型コロナウイルス感染症への対応に適切に取り組み、顧客のニーズと市場動向を見極めながら、中長期的な観点より高コスト用船の早期返船などの構造改革に取り組んでまいります。

なお、修正にあたり前提条件を次のとおりに見直しております。

「第3四半期以降」為替レート：1ドル＝105円（前回公表時107円）

燃料油価格：53,500円/KL（前回公表時57,700円）

（注）上記の業績予想は、当社が現時点において合理的と判断するデータに基づいて作成しており、実際の業績は今後の様々な要因により異なる可能性があります。

以上